

will project がめざすもの

校友時報

進路達成への第一歩!

平成19年8月27日
編集人兼発行人
秋田県立能代市高橋2番1号
秋田県立能代高等学校
印刷所
有

will project がめざすもの
方を育むことです。もう一
つは将来の「在り方」生き
方を考え、そのためには何

Will Project が始まって半年が過ぎた。社会人講話やインターンシップなどを通じて、「一年生は四月に、保護者を迎えて、クラス単位で講話を聞き、将来の生き方や働くことについてより深く考えることができたと思う。己を知り、他を知り、社会を知ることで、学びの意欲を高めるためにさまざまな社会人講話が行われたのである。

六月には全校生徒が外務省の方から「地域協力の流れと日本」というテーマで世界的な視野を養う内容の話を聞いた。将来的進路選択に今回の経験を生かしてもらいたい。

インターンシップについて

二年生全員によるインターンシップは、能代高校では初めての試みだった。五十以上ある企業や施設に協力してもらい、実際に仕事をさせてもらうことで、話を聞かせてもらったりした。これらがもう一度振り返ってもらいたい。

(二B) 北村未沙稀さん



社会保険病院薬局

社会人講話について

講師に迎え、クラス単位で講話を聞き、将来の生き方や働くことについてより深く考えることができたと思う。己を知り、他を知り、社会を

知ることで、学びの意欲を高めるためにさまざまな社会人講話が行われたのである。

六月には全校生徒が外務省の方から「地域協力の流れと日本」というテーマで世界的な視野を養う内容の話を聞くことによって、「やらない職業や興味のある職業に協力をいただき、昨年度九ヶ月をかけて本校が今後どうあるべきか、将来構想を検討してきました。結果としてできたのが「will project」です。

「will project」の目的は、大きなものが「あり、一つは夢と志を持たせ、白己の可能性に挑戦する気概を持たせて進路先に進み、そこで大きく成長し、地域日本、世界を握るがすような人材を育むことです。もう一

つは将来的の「在り方」生き方を考え、そのためには何

校長 井上 高廣

先輩たちの今

三類 一年生 渡邊泰介さん

難関校に合格された先輩方に近況を報告してもらいました。

これまで我々は、進路実現のための授業の充実は勿論、

生徒を育て、進路目標の達成率を上げたいということです。

朝学習や土曜補習等できるこ

とは全てやってきました。し

かし、全ての生徒が主体的に

見なければいけないかを自

覚することによって、「やら

ださない」と願っています。

これまで我々は、進路実現

のための授業の充実は勿論、

生徒の話を聞く・調べ

ることは「体験する」

ことです。三年生では「

社会保険病院薬局

で、社会保険病院薬局

